

庁舎建替えに係る取組の概要

1 現庁舎の概要

(1) 建築年度、構造等

	本庁舎			府中駅北第2庁舎
	西庁舎	東庁舎	北庁舎	
建築年度	昭和34年度	昭和44年度	昭和62年度	平成3年度
経過年数(※)	54年	44年	26年	22年
構造	鉄筋コンクリート造	鉄骨・鉄筋コンクリート造	鉄骨・鉄筋コンクリート造	鉄骨・鉄筋コンクリート造
階層	地下1階、地上3階、搭屋3階	地下2階、地上8階、搭屋2階	地下2階、地上5階、搭屋1階	地下3階、地上7階、搭屋1階
敷地面積	8,816.43㎡			1,580.28㎡
延床面積(全体)	20,970.77㎡			9,361.67㎡
(内訳)	4,775.54㎡	9,010.22㎡	7,185.01㎡	
耐震診断	平成21年度実施	平成21年度実施	未実施	未実施
耐震改修	未実施	未実施	—	—

※ 経過年数は、平成24年度末時点

(2) 耐震診断結果

建物区分	建築年度	構造	診断範囲	Is 値（※）
西庁舎	昭和３４年度	鉄筋コンクリート造	地下１階～地上３階	0.32～0.64
			搭屋１階～３階	0.10～0.76
西庁舎増築	昭和５４年度	鉄筋コンクリート造	地上１階～３階	1.06～2.03
東庁舎	昭和４４年度	鉄骨・鉄筋コンクリート造 （６階から上は増築）	地下１階～地上５階	0.40～0.60
	昭和５４年度		地上６階～８階	0.69～1.14
			搭屋１階・２階	0.84～1.71
東庁舎増築	昭和５４年度	鉄骨・鉄筋コンクリート造	地下１階・地上１階	1.03～1.06

出典：府中市庁舎建設基本構想

※ Is 値：建物の耐震性能を表す指標。建物の強度と粘り強さ、形状やバランス、経年劣化などの要素を総合的に判断する。

Is < 0.3 の場合：地震に対して危険性が高い。

0.3 ≤ Is < 0.6 の場合：地震に対して危険性がある。

0.6 ≤ Is の場合：地震に対して危険性が低い。

(3) 配置図(本庁舎)

別紙のとおり

2 これまでの検討経過

平成21年度	西庁舎と東庁舎の耐震診断の実施
平成22年度	府中市庁舎建設検討協議会における検討 (現庁舎の課題整理や建替えに係る基本的方針等の検討)
平成23年度	「府中市庁舎建設基本構想」の策定 その後、基本構想で示された整備パターンの比較検討
平成24年度	比較検討の結果、庁舎の大規模改修や、将来の建替え等への対応を 考慮するとともに、費用対効果などを考えた上でも、現敷地を拡張 して全ての庁舎を建て替える方針を決定
平成25年度	府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会及び職員検討会における検 討 (庁舎に必要な機能や現状の改善点等の検討)
平成26年度	検討結果を踏まえ、基本計画の検討

3 今後の予定

平成26年度に基本計画を策定した後、早期の新庁舎整備に向けて取り組む